

CAD・PLOTデータ/TTFファイル変換ソフト

簡易マニュアル

HP-GL, HP-GL2, DXF, DWG, OFI データを TTF (True Type Font) ファイルへ変換します。



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

◆概要

CAD・PLOT データ (HP-GL, HP-GL2, DXF, DWG, OFI) を TTF (True Type Font) ファイルへ変換します。
(外字パターンやロゴマーク生成に利用できます。)

◆特徴

- ・ True Type Font ファイルの新規作成、既存の True Type Font ファイルへの追加が可能です。
- ・ コマンドライン形式 (DOS 操作)、GUI 形式 (画面操作) の双方をサポートしたアプリケーションになっています。一つの製品で両形式使用することができます。
- ・ 拡大・縮小 (スケーリング)、回転、オフセットなどの処理が可能です。

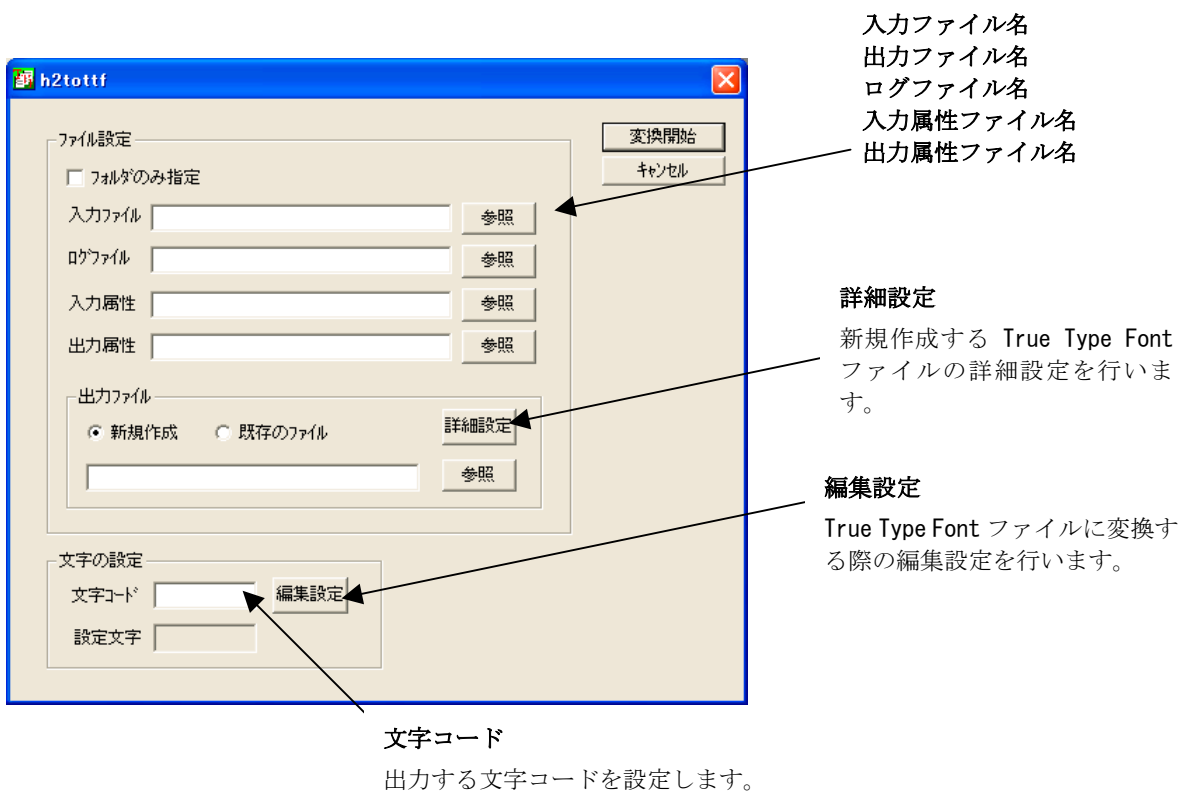
◆動作環境

対応 OS : Windows2000/XP/Server 2003

◆価格

製品名	概要	標準価格 (税抜き)
HPTOTTF	HP-GL データから True Type Font ファイルへ変換	20 万円/本
H2TOTTF	HP-GL2 データ (HP-GL も含む) から True Type Font ファイルへ変換	25 万円/本
OFITOTTF	OFI データから True Type Font ファイルへ変換	25 万円/本
DXFTOTTF	DXF データから True Type Font ファイルへ変換	25 万円/本
DWGTOTTF	DWG データから True Type Font ファイルへ変換	25 万円/本

GUI 操作基本画面



◆GUI からの操作

- ・プログラムを起動すると上記 GUI が表示されます。変換に必要な情報を各項目に設定していきます。設定後、変換開始ボタンを押すと変換が開始されます。処理が終了すると、設定内容にしたがった変換結果 (TTF ファイル) が出力されます。
- ・詳細設定では、作成するフォントの種類 (欧文フォント, 和文フォントなど) の設定、フォントの文字幅 (プロポーショナル, 等幅) の設定、文字幅の設定が可能です。
- ・編集設定では、スケール、回転、オフセット、配置、余白の設定が可能です。

コマンドライン基本操作

基本操作はDOSプロンプトより変換する入力ファイル名、出力ファイル名、変換に関する各種設定情報を入力して実行し、変換をおこないます。ここではH2TOTTFを使用した例を挙げます。

基本形の例) HP-GL/2 ファイル「a.hp2」をTTFファイル「a.ttf」に変換します。
出力する文字コードを「41」とします。

・コマンドライン入力と画面表示

```
>H2TOTTF a.hp2 -Oa.ttf -CODE41  
>
```

(各パラメータについて)

H2TOTTF	: 実行ファイル名
a.hp2	: 変換元ファイル名
-O	: 出力ファイルを指定するオプションパラメータ
a.ttf	: 出力ファイル名
-CODE	: 出力する文字コードを指定するオプションパラメータ
41	: 文字コード

オプション

オプションパラメータは「-」で始まります。オプションパラメータには大文字/小文字の区別はありません。

-O[filename]	: 出力ファイル名の指定
-U[in_atr_name]	: 入力属性ファイル名の指定
-Z[out_atr_name]	: 出力属性ファイル名の指定
-ADD	: 既存のフォントファイルに追加する場合に指定
-CODE[number]	: 設定する文字コードを16進形式で指定(Shift-JIS)
-A	: 表示範囲に収まる最大サイズに合わせて拡大・縮小します。
-BT[size]	: 上方向に追加する余白のサイズを指定
-BB[size]	: 下方向に追加する余白のサイズを指定
-BL[size]	: 左方向に追加する余白のサイズを指定
-BR[size]	: 右方向に追加する余白のサイズを指定
-R[degrees]	: 入力データの回転(0, 90, 180, 270度)
-RA[Arrangement]	: 配置を指定(左下, 左上, 中央, 右下, 右上)
-S[scal]	: 指定サイズでスケール
-X[x_offset]	: X方向のオフセット
-Y[y_offset]	: Y方向のオフセット

-CW[width]	: 文字幅を指定
-PTN	: フォントの文字幅をプロポーショナルにする場合に指定
-PSE[type]	: フォントの種類を指定 (和文フォント, 欧文フォント, 欧文シンボルフォント)
-LOG[log_file]	: ログファイル名を指定
-Q	: ヘルプ
-QV	: バージョン情報

例 1) 入力ファイル「a.hp2」を既存のファイル「a.ttf」の文字コード「41」に出力します。

```
>H2T0TTF a.hp2 -0a.ttf -CODE41 -ADD
>
```

例 2) 入力ファイル「a.hp2」を出力ファイル「a.ttf」の文字コード「41」に出力します。
出力ファイルはプロポーショナルの和文フォントを新規作成します。

```
>H2T0TTF a.hp2 -0a.ttf -CODE41 -PSE0 -PTN
>
```

例 3) 入力ファイル「a.hp2」を既存のファイル「a.ttf」の文字コード「41」に出力します。
上下左右それぞれ 20 ずつ余白を追加して、表示領域の最大サイズでスケールして中央に配置します。

```
> H2T0TTF a.hp2 -0a.ttf -CODE41 -ADD -BT20 -BB20 -BL20 -BR20 -RA2 -A
>
```

制 限 事 項

- ◇ 多重起動することは出来ません。
- ◇ フォント情報を設定することは出来ません。
- ◇ 縦書き専用文字の作成、外字の作成は出来ません。
- ◇ 入力データの余白部分は削除されます。
- ◇ 入力データの線幅が細すぎると輪郭の抽出がうまく行われないうまく変換できない場合があります。